Panasonic® 移信用リレーユニット（シンプルP-2シリーズ用）品番 BVJ8822

施工説明書

BVJ8822

- ●正しい施工をしていただくため、必ずお読みください。
- ●施工するには消防設備士（甲種第4類）の資格が必要です。
- ●施工後、必ず施主様に商品説明をしていただき、施工説明書をお渡しください。
- ●万一、施工説明書にしたがわず施工された場合は責任を負い兼ねることがあります。
- ●火災などによる損害については責任を負い兼ねますのでご了承ください。

■付属品

- ●施工説明書（本紙）……1枚
- ●非常放送連動停止ご注意ラベル……1枚
- ●副受信機用端子ラベル……1枚
- ●絶縁ラベル……1枚
- ●接続用コネクタ……1コ

安全上のご注意　■必ずお守りください

⚠警告

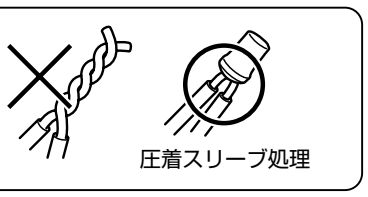
受信機の電源（AC100V）を切り、受信機の電池を取りはずした状態で施工する。
活線工事は感電や発熱・故障の原因となります。

施工上のご注意

- ●この商品は、シンプルP-2シリーズP型2級受信機（BVJ24131,BVJ24151,BVJ24231,BVJ24251,BVJ22031,BVJ22051,BVJ21031,BVJ21051）（別売）専用です。
- ●接続機器については、その商品に付属の説明書をよくお読みください。
- ●商品の分解・改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。

■施工時のご注意

- ●電線接続部は圧着スリーブなどで行い、絶縁処理をしてください。
  - ●電線をよじっただけでは、長期使用中に電線表面が酸化不良をおこし、誤報の原因となります。



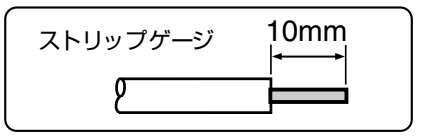
速結端子のご使用方法

●電線は必ず右記の単線を使用してください。

小勢力端子	φ0.9～φ1.6

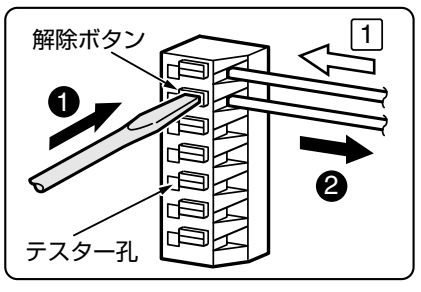
電線の接続方法

●速結端子への入線は、1端子あたり、1本にしてください。受信機内のストリップゲージに合わせて電線被覆を10mmむき、1 心線を奥まで確実に差し込む。



電線のはずし方

❶ ⊖ドライバー（小）で解除ボタンを押しながら
❷ 電線を引き抜く。



導通確認のしかた

テスター孔にテスター棒を差し込めば結線したまま導通確認などができます。

施工後の確認方法

注 確認後は、受信機の復旧スイッチを押して、平常時の状態にしてください。
（シンプルP-2シリーズP型2級受信機の取扱説明書を参照ください。）

●受信機のL-C間を1回線ずつ短絡させ、右記の接点出力を確認し、受信機の復旧スイッチを押した後、次の回線を確認してください。

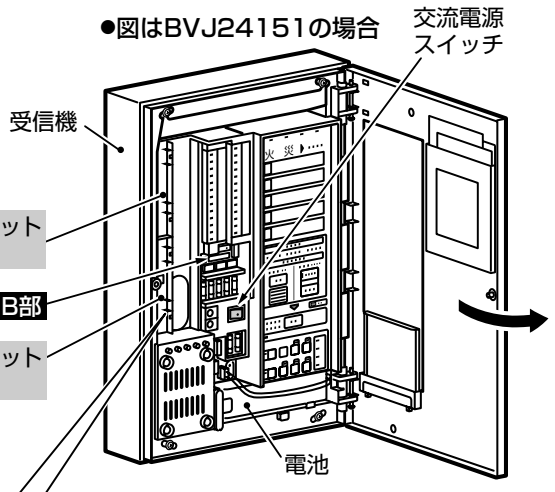
●受信機のL-C間を2回線分、短絡させ火災警報状態とし、接点出力EF-EC間が導通することを確認してください。

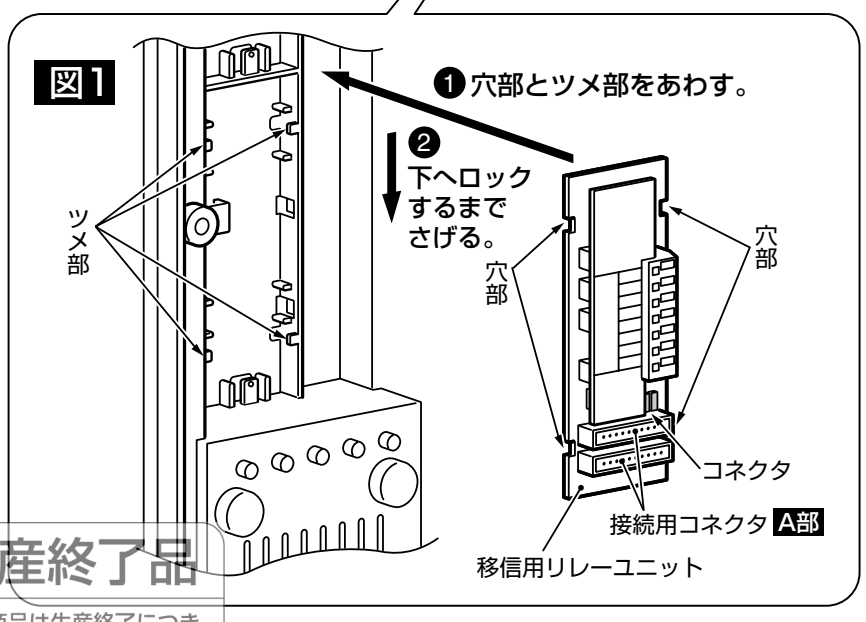
●火災警報回線	●接点出力
1回線目（L1-C）	EA1-EC間導通
2回線目（L2-C）	EA2-EC間導通
3回線目（L3-C）	EA3-EC間導通
4回線目（L4-C）	EA4-EC間導通
5回線目（L5-C）	EA5-EC間導通

取　付　方　法

■非常放送設備（音声警報機能付）を接続する場合

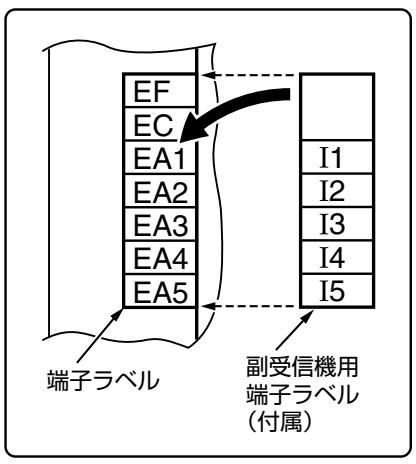
1. 受信機の扉をあける。
2. 交流電源スイッチを「切」側にし、電池を取りはずす。
3. 受信機の 移信用リレーユニット取付スペース② に移信用リレーユニットを取り付ける。（図1 参照）
4. 移信用リレーユニットの接続用コネクタ A部 と受信機の接続用コネクタ B部 を付属の接続用コネクタで接続する。
5. 配線する。※「接続方法」参照
6. 電池を取り付け交流電源スイッチを「入」側にする。
7. 動作確認をする。※「施工後の確認方法」参照
8. 受信機の扉をしめる。





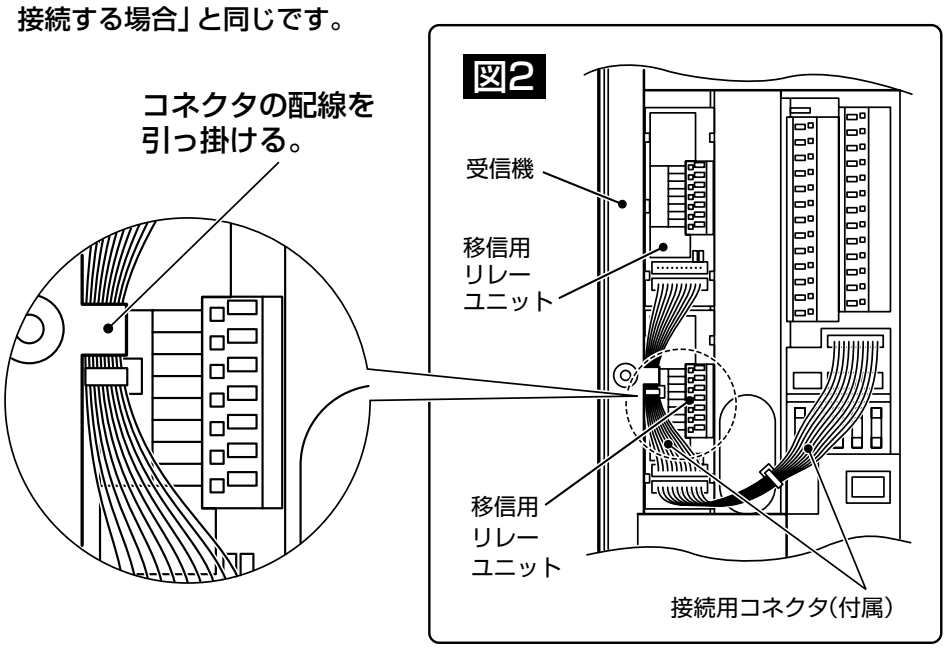
■副受信機（BV86051）を接続する場合

- ●移信用リレーユニットの端子ラベルの上に副受信機用端子ラベル（付属）を貼り付ける。
- ●移信用リレーユニットのコネクタを「J2」から「J1」に変更してください。
  ※「接続方法」参照
- ●他の取付方法は「非常放送設備（音声警報機能付）を接続する場合」と同じです。



■移信用リレーユニットを2台取り付ける場合

- ● 移信用リレーユニット取付スペース①、② に取り付けてください。
- ●移信用リレーユニットと受信機の接続方法は 図2 を参照してください。
- ●他の取付方法は、「非常放送設備（音声警報機能付）を接続する場合」「副受信機を接続する場合」と同じです。



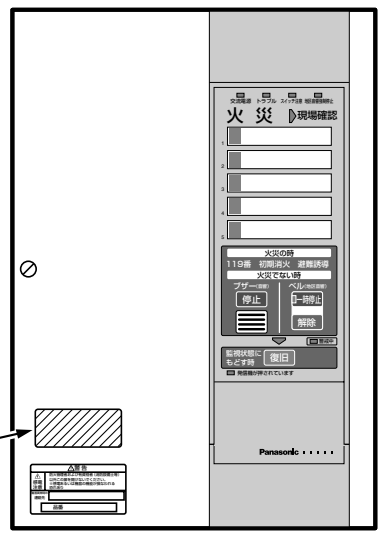
生産終了品
この商品は生産終了につき製造することができません

■非常放送連動停止ご注意ラベルの貼付位置について

●非常放送設備（音声警報機能付）と接続する場合は、付属の下記ラベルを斜線部に貼り付けてください。

ご注意

この受信機の移信（移報）スイッチで非常放送の連動も停止します



非常放送連動停止ご注意ラベル

●図はBVJ24151の場合

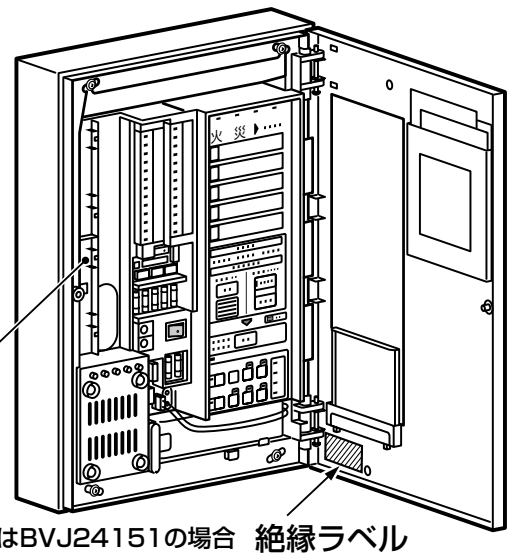
■絶縁ラベルの貼付位置

●付属の下記ラベルを斜線部に貼り付けてください。

ご注意

絶縁抵抗試験をする時は、非常放送設備の内部回路が破損する恐れがありますので、必ず、非常放送設備への配線をすべてはずしてから行ってください。

40785



移信用リレーユニット

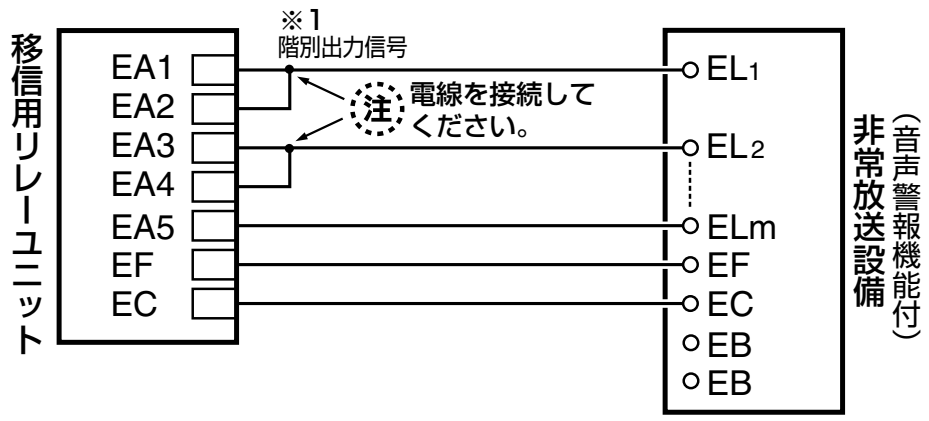
●図はBVJ24151の場合　絶縁ラベル

接　続　方　法

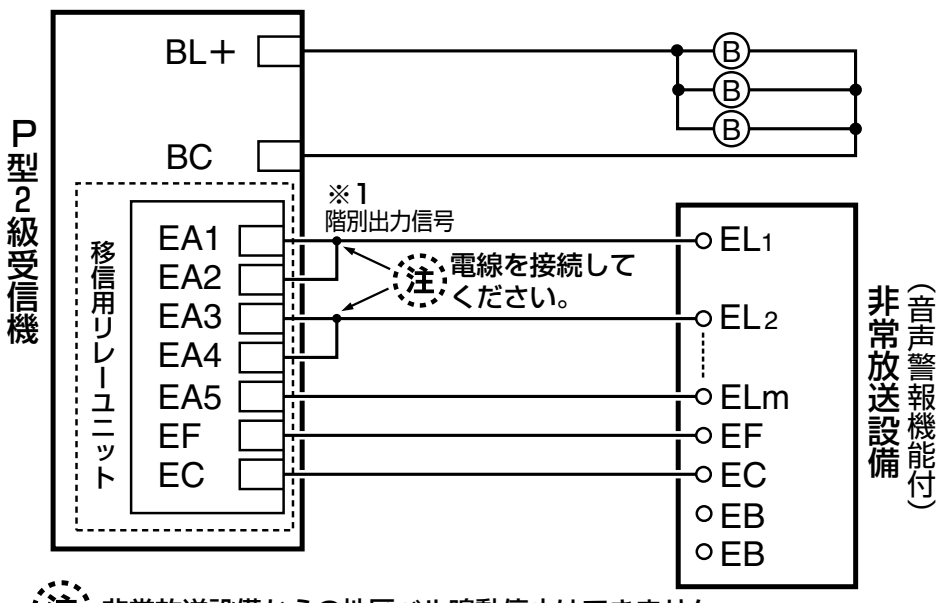
⚠警告　電線、コネクタの差し込みが、不十分な場合、誤動作・不動作の原因になりますので確実に差し込んでください。

■非常放送設備（音声警報機能付）との接続

【1】地区ベルを接続しない場合

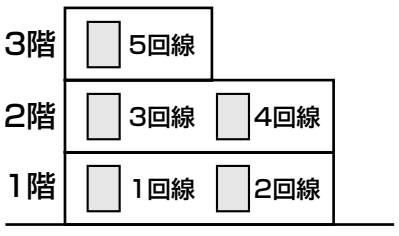


【2】地区ベルを接続する場合（一斉鳴動）



注　非常放送設備からの地区ベル鳴動停止はできません。

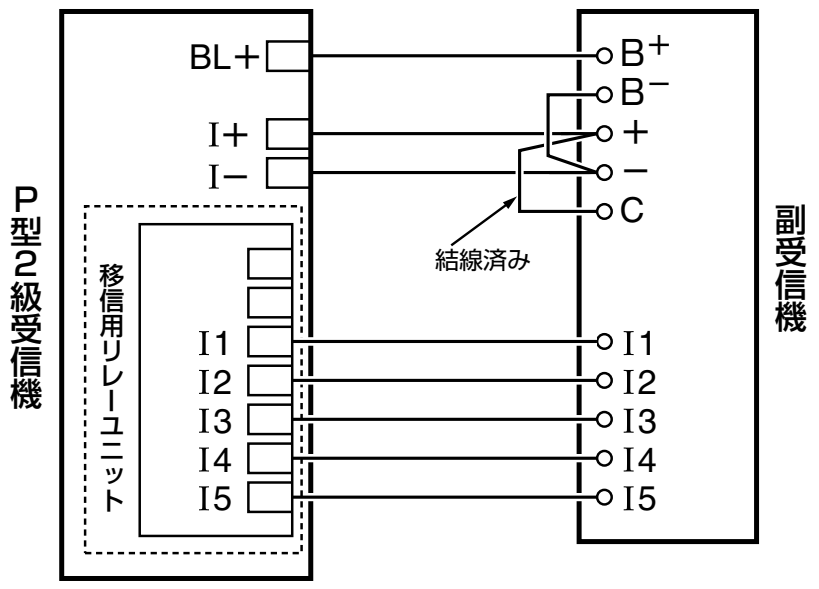
※1●3階の建物で
1階に1・2回線、
2階に3・4回線、
3階に5回線、使用した
場合を示します。



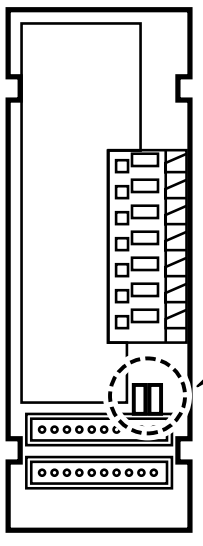
■非常放送設備（音声警報機能なし）との接続

●接続できません。

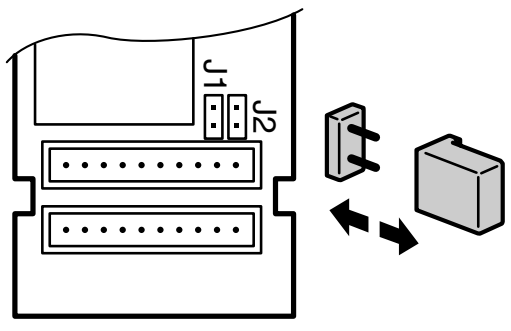
■副受信機（BV86051）との接続



●コネクタを「J2」から「J1」に変更してください。
（出荷時は「J2」に接続しています。）



●コネクタの抜き差し方



※まっすぐ抜いてください。

■異常時の点検・処置

症　　状	点　　検	処　　置
接点出力 （EAn-EC間、EF-EC間）がでない。	接続用コネクタ（2ヶ所）がしっかりと差し込まれていますか？	接続用コネクタ（2ヶ所）をしっかりと差し込む。 （「取付方法」参照）
	コネクタが「J1」に差し込まれていませんか？	コネクタを「J2」に差し替える。 （「接続方法」参照）

パナソニック株式会社　システム機器ビジネスユニット
〒514-8555 三重県津市藤方1668番地　電話 0120-283338　FAX 0120-551626

© Panasonic Corporation 2012

8A1 863 00008　K1295-70112A